

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

小学校第6学年の児童

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
 - ・主として「知識」に関する問題（A）
 - ・主として「活用」に関する問題（B）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童に対する調査
 - ・学校に対する調査

4. 調査日時

平成30年4月17日（火）

II 学力調査の結果

1. 教科に関する調査結果（平均正答率※）

市平均を下回ったもの

県平均を下回ったもの

全国平均を下回ったもの

全てを下回ったもの

【平成30年度】

教科	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
府中市	75	60	67	54	63
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
県	73	59	66	54	63
本校	72	61	70	58	60

3. 調査結果にみられる特徴と課題

【国語】

学習指導要領の領域	区分	特徴と課題
話すこと 聞くこと	A問題 (知識)	◇相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて事例などを挙げながら筋道を立てて話す。+3.9
	B問題 (活用)	◇話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見を比べなどして考えをまとめる。+21.5 ◆話し合いの参加者として、質問の意図を伝える。-0.9
書くこと	A問題 (知識)	◇自分の想像したことを物語に表現するために文章全体の構成を考える。+5.1
	B問題 (活用)	◆たくさんの情報の中から、必要な情報を選択し、条件に合わせて書く。
読むこと	A問題 (知識)	◇目的に応じて必要な情報を捉える。+12.9%
	B問題 (活用)	◇目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが ら読む。+8.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	A問題 (知識)	◇日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う。+9.6 ◆文脈の学年別漢字配当に示されている漢字を文の中で正しく使う。 -8.5 ◆文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。 -6.6
	B問題 (活用)	

◇…相当数の児童ができていない点 ◆…課題のある点

【算数】

学習指導要領の領域	区分	特徴と課題
数と計算	A問題 (知識)	◇ ◆少数の除法の意味（具体的な問題場面）が理解できていない。
	B問題 (活用)	
量と測定	A問題 (知識)	
	B問題 (活用)	◇示された考え方を解釈し、他の数値の場合を表に整理すること。 ◆条件に合う時間を判断することができていない。
図形	A問題 (知識)	◇ ◆合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に条件に合う図形を見出すことができていない。

	B問題 (活用)	
数量関係	A問題 (知識)	◇ ◆
	B問題 (活用)	◇ ◆示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができていない。

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点

【理科】

学習指導要領 の領域	区分	特徴と課題
物質	A区分 (知識)	
	B区分 (活用)	◇実験の結果から特定の水溶液を選ぶことができる。 ◆実験結果から言えることだけに言及した内容の考察を書くことができない。
エネルギー	A区分 (知識)	
	B区分 (活用)	◆正しい実験結果はわかるが、多様な予想をイメージ化することができない。
生命	A区分 (知識)	
	B区分 (活用)	◇生き物を観察する方法を構想することができる。 ◆実験の結果を考察に結び付けることができない。
地球	A区分 (知識)	
	B区分 (活用)	◇太陽の動きと光電池に生じる電流の変化の関係をものづくりに生かす。 ◆正しい実験結果はわかるが、多様な予想をイメージ化することができない。

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点

4. 今後の指導改善策

【国語】

学習指導要領 の領域	指導改善策
話すこと 聞くこと	・話し合いの仕方をいろいろと工夫し、いろいろな立場で話し合いに参加し、目的に沿った発言ができるようにさせる。
書くこと	・多くの情報から必要な情報を選択し条件に合わせて書く機会を多く作る。
読むこと	・長文を読み切る力をつけるために速読などを取り入れ。 ・何のために読むのか、目的意識を持って読ませる。 ・それぞれの情報を関連させて考える授業を仕組む。

	<ul style="list-style-type: none"> 文章のしかけをみつけるような授業をしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 漢字は文脈の中で、その意味を理解させ覚えさせる。 常に辞書を引かせる習慣をつけ、語彙を増やす。(熟語・同音異義語) 主語・述語の関係が正しいかを意識させ、作文を書かせたり発表をさせたりする。

【算数】

学習指導要領の領域	指導改善策
数と計算	数の順番等にとらわれず、問題文を図に示すなどして具体的に問題場面をイメージさせて立式させる。
量と測定	
図形	目的意識を持って図形に色をぬったり、組み合わせたりして算数的活動を十分に行わせる。
数量関係	図・式・言葉を使って考えさせ、分かることや分かったことは必ず図に書きこむなどして情報を整理させる。

【理科】

学習指導要領の領域	指導改善策
物質	考察を書かせる際、学習問題に立ち返らせて、それに対応する考察を書かせるようにする。
エネルギー	実験前に結果を予想させ、それを共有する。予想・共有する際に、内容をイメージすることができるように、イラストや具体物を用いる。
生命	実験結果とそこから言えることを必ず書かせるようにする。
地球	実験前に結果を予想させ、それを共有する。予想・共有する際に、内容をイメージすることができるように、イラストや具体物を用いる。

【学校としての取組】

指導改善策
<p>○授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内研修を行い、必然性のある課題づくりと学び合いのある授業改善を目指し、多くの情報から、必要な情報を選択し、条件に合わせて書く力をつける。文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えを持てる児童を育てる。

○読書指導の充実

- ・学年ごとに選んだ「旭っ子 30 冊」を読ませ、読書量を増やすことで、語彙力を向上させる。

○ドリル時間の充実

- ・各学年の課題を明らかにし、数値目標を決め、確実に実施することで、基礎学力を向上させる。
- ・漢字練習では、単に反復練習させるのではなく、同音異義語や熟語を文脈の中で理解させ、いろいろな使い方を身に付けさせる。
- ・「ことばのきまり」を使い、ことばの性質や役割による語句のまとまりを理解し、語彙を豊かにする。

○家庭学習・自主学習の定着

- ・目的を持って家庭学習に取り組ませるために家庭学習頑張りカードを活用する。
- ・モデルとなる自主学習ノートを掲示し、内容を充実させる。
- ・学級懇談会で、家庭学習の実態と必要性を話し、協力をお願いする。

○学習したことを実生活で生かす場面の設定

- ・日常生活や総合的な学習の時間・地域との交流などを通して、学習したことを発表する場を設定する。

Ⅲ 学習状況調査の結果

1. 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

（12）家で学校の授業の予習・復習をしていますか。

（本校 81.8% 全国 62.8% 差 +19%）

（20）今住んでいる地域の行事に参加していますか。

（本校 95.5% 全国 62.7% 差 +32.8%）

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目

（15）学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか。

（本校 36.9% 全国 41.1% 差 -4.2%）

（22）地域や社会をよくするために、何をすべきか考えることがありますか。

（本校 36.9% 全国 49.9% 差 -13%）

（25）新聞を読んでいますか

（本校 10.2% 全国 19.9% 差 -9.7%）

（56）5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。

（本校 50% 全国 61% 差 -11%）

2. 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

○新聞のある学習環境づくり

新聞記事の掲示や外部講師（新聞記者）から新聞の読み方や書き方の指導等、日々の学習の中で新聞に慣れ親しませる。

○地域交流の充実

コミュニティ・スクールの取組（地域清掃やセイフティ信和訪問、高齢者交流会等）を充実させる。